

議題 1 デマンド交通の料金等の見直しについて

現在のデマンド交通の問題点として「予約の取りにくさ」が挙げられる。アンケート調査では「希望通りの時間に予約が取れば利用する」と24%の人が回答した。デマンド交通については市民の約80%に認知されているものの、実際に利用したことがあると回答した市民は3%に留まっている。

デマンド交通は、定時定路線を8路線から3路線に減らす代わりに、主に買い物・通院・温泉利用のための支線として導入され、利用しやすいようにパスポート月額3,000円を設定し、制度周知と利用促進に努めてきた。

しかし、現在のデマンド交通の利用は、概ね当初の利用目的として使用されているものの、約30人の特定利用者が利用数の約65%を占めており、(令和元年度については特定利用者21人、占有率約50%：別紙資料2補足参照)文頭の「予約の取りにくさ」につながっている。

今回、問題解消を図るとともに更なる利用促進を図るため、海津市コミュニティバス及びデマンド交通の運賃割引制度について以下のとおり見直しを行う。

【改正前】

海津市コミュニティバス 100円

- ・市内65歳以上の方で海津市発行の高齢者身分証明書を提示された方
- ・障がい者の方で障がい者手帳を提示された方／その介助者（介助者1名まで）

デマンド交通 150円

- ・運転免許証自主返納者で、運転経歴証明書を提示された方
- ・障がい者の方で障がい者手帳を提示された方／その介助者（介助者1名まで）

【改正後】

- ・市発行の高齢者身分証明書など市内在住の65歳以上の者であることがわかるものを提示された方

- ・障がい者の方で障がい者手帳を提示された方／その介助者（介助者1名まで）

海津市コミュニティバス 100円 デマンド交通 200円

運賃割引制度見直しに伴い、現在のデマンド交通のパスポート3,000円/月を廃止する。

また、割引対象者拡充に伴いデマンド交通運賃を400円に値上げする。

適用年月日 令和2年10月1日から

○現行の運賃割引制度の問題点

- ・定時定路線は、市内在住の65歳以上でも市が発行する高齢者身分証明書をもっていない人は割引の対象にならない。
- ・デマンド交通は、運転経歴証明書を持っていれば市外利用者でも割引対象になる。
- ・デマンド交通は、高齢者向けの運賃割引制度がない。
- ・それぞれで運賃割引制度が異なるため、利用者や運転手が混同する。

○運賃割引制度を見直すことによるメリット

- ・保険証等市内の65歳以上であることがわかるものを提示すれば、いずれも通常料金の半額で利用できる。
- ・デマンド交通の通常運賃を400円に値上げするが、現在の利用者の大半は65歳以上の方が多いので、割引制度を拡充することにより大半の利用者は実質の利用負担は減る。

○運賃割引制を見直すことによるデメリット

- ・デマンド交通のパスポート（月額3,000円）を廃止することにより、パスポート利用者の負担が増える。
- ・デマンド交通で65歳未満の運転経歴証明書保持者の運賃割引適用がなくなる。
（平成27年以降、自主返納支援事業を受けた方で令和2年10月1日現在で65歳未満の方はいない）

○デマンド交通の市負担額（令和元年度分）

市負担額：34,484千円

年間利用者：19,321人（延べ人数）

利用者1人当たりの市負担額：1,785円

●デマンド交通の運賃収入シミュレーション

前年度と同じ年齢層・頻度があるものとし、昨年のアンケート結果を反映。

現計画において市の負担額は現状を維持することを目標としていることから、前年度の運賃収入（2,849,800円）を基準に、月額パスポートを廃止したうえで、改正前の運賃割引体系と改正後の運賃割引体系、通常運賃300円と値上げ後の400円とてデマンド交通の運賃収入シミュレーションを行う。

（別紙参照）

今回の見直しに伴い、利用ガイドは新たに作成しませんが、市報、ホームページ、車内掲示することにより、周知を図っていきます。

また、デマンド交通のパスポートについては9月30日（水）まで販売を行うこととします。